

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	協働推進研修事業	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	看護課	野村看護課長		
会計区分	一般会計	上位政策	必要な医療従事者を確保するとともに、資質の向上を図ること。			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年12月28日医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について」で示された、専門職がその専門性を発揮するために強化すべき看護業務について、看護師等の研修の場を確保し、チーム医療を推進するための医師と看護師等の協働と連携を推進し、医療提供体制の充実を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県において、通知に定める看護業務について研修プログラムを作成し、看護師等の能力の研鑽のため研修事業を実施する。 補助先: 都道府県 基準額: 6,398千円 補助率: 定額					
実施状況	21年度実施都道府県: 6					
予算の状況 (単位: 百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			350	102	43
	執行額			7		
	執行率			2.0%		
	総事業費(執行ベース)			15		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、すべての経費について支出先、用途を把握している。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	都道府県から事業採択にかかる情報収集に努め、原因分析を行うとともに看護職員など医療関係職種の専門性を高め、チーム医療の下、役割分担を積極的に推進できるようにしていく。 また、現在検討を進めている『一般看護師の行える医行為』について、検討結果を踏まえた事業の見直しが今後の課題である。				
予算チームの監視・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) 予算と執行の乖離の要因等を精査し、平成22年度より予算の縮減を図っているところであるが、実施箇所数等の見直しによりさらなる予算の縮減を図る必要がある。					
補記						

厚生労働省
7.4百万円

※補助率1/2

基準額:1カ所あたり
14,893千円

【補助】

A.6県7.4百万円
(補助額1位:兵庫県3.9百万円)

看護業務について研修プログラムを作成し、看護師等の能力の研鑽のため研修事業を実施

【委託】

B.(社)兵庫県看護協会
3.9百万円

研修にかかる検討会、研修を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.兵庫県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	(社)兵庫県看護協会	3.9			
計		3.9	計		0
B.(社)兵庫県看護協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	研修にかかる検討会、研修経費	3.9			
計		3.9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0